平成26年度科学研究費助成事業 実績報告書(研究実績報告書)

				7	IJΧ	2 0	一汉	יון דר ורו	リノしら	三四川	グザラ	未一大模拟口目(1	<i>/</i> 1/6 /	小只十以口	-1 == /			
1. 村	幾関	番号			1	4	6	C)	3		2. 研究機関名	奈良:	先端科:	学技術	大学院之	大学	
3. 石	开究種	目名		基盤	研乳	琓(B)					4. 研究期間	平成	2 5 年	度~5	平成 2 8	年度	
5. 言	果題	番号		2	5	2	8	7 0	7	5								
6. 石	开究課	題名									-	· 性可変原子構造解析:	法の確	立と応り	用			
7 5	开究代	耒 孝																
, 		究			号	,	6H	究 代	・表		z	所属	星 邨				職	 名
	H/I	76		<u> </u>			_	フミヒコ					- 기	1-1	н		准教授	
6	0	3 2	4	9	7	7	松井	文彦				INSCRIBANT I WIND!					7124712	
8. 1	开究分	— · 担者			:	·												
	研	究	者	番	号		研	究 分)担	者 征	呂	所属研究	究機関	名・部	局名		職	名
0 5	开究実		班典	<u>:</u>	<u> </u>	<u>:</u>												
_				中の	白由	雷子	の非弾	性 散 刮	過程	に光言	雪子回	折とは逆の吸収過程が	あり	エネル:	ギー指生	ま雷子の1	角度分布に	励起源
l の1	扁光や	種類(光•	雷子) [関わ	らず、法の開	光雷子	回折	模様と	とは直	逆のネガコントラスト	模様が	観察され	ห่อฮิ๊	とを発見	した。この「	逆光電
ر ا اع)測定(飲 X 線	D 中心 ビーム	となって	るSP	ring 集光	-8 E 位置	BL25SUI の最適	ま2014年 化によ	₹9月	までに 分解 1	こブラ	ンチ化を含む大幅な改 どのアップグレードを	造工事	があり、	それ! ム径が-	こ合わせき	表示型分析器の300μmから	の移設 数10 u
I m (・四東さ	サカ;	ーレォ	バでき	₹. 7	不均-	一言尤米斗で	でも、状態	能の良	きい場	所を遺	異んで回折測定が行える	ろように	こなった	• .			
7	組み立	てが終	わり	、電フ	極電イ	位の	調整・	最適化	を進	かてし	しる。	型分析器を作製する。 イムを獲得。InSb表面(五雪之2	はの光電	ふ ガイマス カイス カイス カイス カイス カイス カイス カイス カイス カイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア		物処収兵工16	は出現して
分(のバッ	クグラ	ウン	ドに	つい	て詳	細に調	べた。	その	結果、	価電	子帯の元素別状態密度	を解析	するこ	とが可能	能になり、	、本成果のお	かげで
4) Auge	で記しています。 電子[回折0	ケエを	具と	見ると磁性	を輩出 生単分	子の表記	エラ 面構造	た。	する訳	倫文がそれぞれPhys. R	Rev. Le	tt誌に	掲載され	nた。		
10.=	キーワ	ード																
(1) 表面	・界面	面構造	<u> </u>			(2)	表面・	界面特	勿性		(3) 光電子回折	:		(4) Augerī	電子	
(5) 二次	電子					(6)	非弾性	散乱			(7)			(8)		
()	主 (主	印刷	引に	当た	っ ⁻	ては	t、A	4 判	(縦	長)	・両	 i面印刷すること。					(1	/8)

11. 現在までの達成度

(区分)(2)おおむね順調に進展している。

(理由)

1.分析器開発で地磁気などによる影響を除去するための磁気遮蔽真空槽を作製した。収束電子銃を用いた分析器の電場調整について 詳細に行っている。
2. SPring-8での移設作業が無事終了し、光電子回折の実験を再開できるようになった。アップグレードでX線ビームが数10μmに収束し、微結晶試料の実験が行えるようになった。
3. 建設協力を行ってきたスイス放射光施設の光電子回折ビームラインのユーザーとしての利用も二年目に入り、InSbの価電子帯でのファンサービのアファンドをあるにある。 エネルギー損失電子回折のデータを系統的に取得してきた。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

研究室のメンバー(研究代表者と配属学生3名、一期生1名は無事卒業)に新規に学生2名配属される予定である。この新体制で次の3課題に取り組む。 1. 小型分析器にて電子回折模様の測定実験を進める。分析器コントローラ、試料搬送システム、データ解析で研究室のメンバーで担 当を分担する。 2.SPring-8 BL25SU2次元光電子分光装置での実験長期利用課題が採択された。共同実験者から試料提供を受け、光電子回折の実験を 進める。 3.これまで測定・解析してきたデータが論文化されている。引き続き論文化にも注力する。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

H26年度の成果を4月の国際会議で発表する旅費を捻出するために想定していたが、年度をまたぐため、繰り越しを行った。

(使用計画) 上述の用途で生じる繰り越し額に相当する分をH27年度に使用する予定。

13.研究発表(平成26年度の研究成果)

〔雑誌論文〕 計(10)件 うち査読付論文 計(10)件

著 者 名			論文	標是	頁				
Fumihiko Matsui, Masayoshi Fujita, Takuya Ohta, Naoyuki Maejima, Hirosuke Matsui, Hiroaki Nishikawa, Tomohiro Matsushita, Hiroshi Daimon	Selective Detectio	n of Angular-N	Momentum-Polarize	d Auger E	Electr	ons	by At	omic	Stereography
雑誌名		査読の有無	巻			発行	厅年		最初と最後の頁
Phyical Reveiw Letters		有	114		2	0	1	5	015501-1-4
掲載論文の[OOI(デジタルオ)	ブジェクト識別	· 引子)						
10.1103/PhysRevLett.114.015501									

著 者 名			論 文 標	題	į	
Rasmus Westerstrom, Anne-Christine Uldry, Roland Stania, Jan Dreiser, Cinthia Piamonteze, Matthias Muntwiler, Fumihiko Matsui, Stefano Rusponi, Harald Brune, Shangfeng Yang, Alexey Popov, Bernd Buchner, Bernard Delley, Thomas Greber	Surface Aligned Ma	agnetic Momen	nts and Hysterisis of an	Endohe	edral Single-Moled	cule Magnet on a Metal
雑誌名	-	査読の有無	巻		発行年	最初と最後の頁
Physical Review Letters		有	114		2 0 1 1 5	087201-1-4
掲載論文の	DOI(デジタルオフ	ブジェクト識別	J子)			
10.1103/PhysRevLett.114.087201						

	atomic configuration of ara			
rkamoto, Azusa N. Hattori, Y. Sano, K. Yamauchi, Hiroshi Daimon diffract		phene, buffer layer, and pr	ecursor layer on SiC(0001) by photoelectror
 雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
urface Science	有	632	2 0 1 1 5	90-102
 掲載論文のDOI(デ	デジタルオブジェクト識別	J子)		

著 者 名			論	文	標	題		
Hiroyuki Matsuda, Laslo Toth, Fumihiko. Matsui, Hiroshi Daimon	Evaluation of distu	urbing effect of	mesh holes i	n wide	-accept	ance-angle ele	ctrost	atic mesh lenses
雑 誌 名		査読の有無		巻		発行年	Ę	最初と最後の頁
Journal of Electron Spectroscopy and Related Phenomena		有		195		2 0 1	4	78-84
掲載論文の	DOI(デジタルオ:	ブジェクト識別	子)					
10.1016/j.elspec.2014.05.013								

著 者 名			論	文	標	題		
Fumihiko Matsui, Tomohiro Matsushita, Hiroshi Daimon	Photoelectron stru	icture factor ar	nd diffraction	specti	roscopy			
雑誌名		査読の有無		巻		多	行年	最初と最後の頁
Journal of Electron Spectroscopy and Related Phenomena		有		195		2 (1 4 	347-360
掲載詞	扁文のDOI(デジタルオ:	ブジェクト識別	子)			-		-
10.1016/j.elspec.2014.02.013								

著 者 名			論	文	標	題			
Tomohiro Matsushita, Fumihiko Matsui	Features of atomic holography using \$		structed from	photoe	electron	, Auger electr	on, an	d internal electron	
雑誌名	-	査読の有無		巻		発行年		最初と最後の頁	
Journal of Electron Spectroscopy and Related Phenomena		有	1	95		2 0 1	4	365-374	
掲載論文の	DDOI(デジタルオ:	ブジェクト識別]子)						
.1016/j.elspec.2014.05.005									

著 者 名			論文	標是	題		
Hiroyuki Matsuda, Kentaro Goto, Laslo Toth, Makoto Morita, Satoshi Kitagawa, Fumihiko Matsui, Mie Hashimoto, Chikako Sakai, Tomohiro Matsushita, Hiroshi Daimon	Development of di validation	splay-type ellip	osoidal mesh analyze	er: Comp	utational eva	luation	n and experimental
雑誌名		査読の有無	巻		発行的	F	最初と最後の頁
Journal of Electron Spectroscopy and Related Phenomena		有	195		2 0	4	382-398
掲載論文の	DOI(デジタルオ)	ブジェクト識別]子)				
10.1016/j.elspec.2014.05.001							

著 者 名			論	文標	頁	
Naoyuki Maejima, Fumihiko Matsui, Hirosuke Matsui, Kentaro Goto, Tomohiro Matsushita, Satoru Tanaka, Hiroshi Daimon	Site-Specific Atom SiC(0001) by Phot				taxial Silicon Oxyni	ride Thin Film on
雑誌名		査読の有無	巻		発行年	最初と最後の頁
Journal of Physical Society of Japan		有	83	3	2 0 1 4	044604-1-5
掲載論文の	DOI(デジタルオ)	ブジェクト識別	子)			
10.7566/JPSJ.83.044604						

著 者 名			論	文 標	題	
Rie Horie, Fumihiko Matsui, Naoyuki Maejima, Hirosuke Matsui, Kota Tanak, Hiroshi Daimon, Tomohiro Matsushita, Shigeki Otani, Takashi Aizawa	Cubic Zirconia Cr Polarized-Light Pl			kial Formatio	on on ZrB2(0001) Co	onfirmed by Circularly-
雑 誌 名	<u>!</u>	査読の有無	Ż	*	発行年	最初と最後の頁
e-Journal of Surface Science and Nanotechnology		有	1	3	2 0 1 5	111-115
掲載論文の	DOI(デジタルオ:	ブジェクト識別]子)			
10.1380/ejssnt.2015.111						

著 者 名			論文	標是	頁			
54.E. S. A. Nouh, S. N. Takeda, F. Matsui, K. Hattori, T. Sakata, N. Maejima, H. Matsui, H. Matsuda, T. Matsushita, L. Toth, M. Morita, S. Kitagawa, R. Ishii, M. Fujita, K. Yasuda, H. Daimon	Lattice Distortion	of Porous Si b	y Li Absorption Usi	ng Two-[Dimensio	nal Ph	otoel	ectron Diffraction
雑 誌 名		査読の有無	巻		発	行年		最初と最後の頁
Journal of Materials Science		有	49		2 0	 1 	4	35-42
掲載論文の四	OOI(デジタルオ)	ブジェクト識別]子)					
10.1007/s10853-013-7799-2								

〔学会発表〕 計(5)件 うち招待講演 計(0)件

発 表 者 名	発 表 標 題				題
Fumihiko Matsui, Takuya Ohta, Naoyuki Maejima, Hirosuke Matsui, Hiroaki Nishikawa, Hiroshi Daimon, Tomohiro Matsushita, Thomas Greber, Roland Stania, Rasmus Westerstrom, Matthias Muntwiler, Jun Zhang	Selective Detection of Angular Momentum Polarized Auger Electron by Atomic Stereography				
学 会 等 名	発表年月日			3	発表場所
International Conference on Structure of Surface	2014年07月21日 ~ 2014 年07月25日	Coventry, U.K.			

発 表 者 名	発 表 標 題				
Hiroaki Nishikawa, Fumihiko Matsui, Naoyuki Maejima, Hirosuke Matsui, Tomohiro Matsushita, Masaru Shimomura, Hiroshi Daimon	Valence Band Elemental De	nsity of State Analysis	of InSb by P	Photoelectron Diffraction Spectroscopy	
学 会 等 名	発表年月日		発	表 場 所	
International Conference on Structure of Surface	2014年07月21日 ~ 2014 年07月25日	Coventry, U.K.			

発 表 者 名		発	表	標	題
Fumihiko Matsui, Takuya Ohta, Naoyuki Maejima, Hirosuke Matsui, Hiroaki Nishikawa, Hiroshi Daimon, Tomohiro Matsushita	Selective Detection of Angu Cu(001) surface	lar-Momentum-Pc	olarized .	Auger I	Electrons from Ni magnetic thin film on the
学 会 等 名	発表年月日				表場所
International Symposium on Surface Science	2014年11月02日 ~ 2014 年11月06日	〈にびきメッセ(♪	島根県村	松江市	;)

						2版
		発表	標	題		
Bonding C photoelect	haracter of Ni-O ron spectroscopy	surface complex studied	by synch	rotron ex	cited two-dim	ensional
					所	
2014年11 年11月06	1月02日~2014 6日	くにびきメッセ(島根県	悬松江市)		
		発 表	標	夏		
		Valence Band Elementa	I Density	of States	by Photoelect	ron Diffraction
- 発	登表午日口 登 表午日口			表 場	所	
2014年11	2014年11月02日 ~ 2014 年11月06日					
•						
			出版	社		
書名 発行年			元年 総ページ数			
発 昭孝	権利者	産業財産権の種類	悉只		11年日日	国内・外国の別
75.0E	INCTO IA	上へが正性が持ち	3	- Lin	n I/JH	
	Photoelecti 発 2014年1 年11月06 Qurantitat Spectrosco	発表年月日 2014年11月02日~2014年11月06日 Qurantitative Evaluation of Spectroscopy 発表年月日 2014年11月02日~2014年11月06日	形表年月日 2014年11月02日~2014 〈にびきメッセ(島根野年11月06日 茶表年月日 2014年11月06日 発表年月日 2014年11月06日 発表年月日 2014年11月02日~2014年11月06日 イニングラングでは、日本の主義を表現している。	Bonding Character of Ni-O surface complex studied by synch photoelectron spectroscopy 発表年月日	Bonding Character of Ni-O surface complex studied by synchrotron exphotoelectron spectroscopy 発表年月日 発表場 場	Bonding Character of Ni-O surface complex studied by synchrotron excited two-dim photoelectron spectroscopy 発表年月日 発表場所 2014年11月02日~2014年11月06日 発表標題 Qurantitative Evaluation of Valence Band Elemental Density of States by Photoelect Spectroscopy 発表年月日 発表場所 2014年11月02日~2014年11月06日 発表場所 単版社 社版社 単版社 日本版社 日本版社

[取得] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	